

令和7年度 教育計画						学校番号 9	
松山市立堀江小学校							
校長名	毛利 直史	学級数	22 (5)	児童 生徒数	516	教職員数	28

教育目標

正しく 仲よく 根気よく
伸びる 堀江っ子

の育成

校訓

正しく

仲よく

根気よく



正しく考える子

自ら考え、正しく判断する

- 正しく読み解き、正しく判断する
- 主体的に考え、学び合って深める
- 多様な方法で能動的に学ぶ

仲よく助け合う子

思いやりと優しさを育む

- 自分や友達のよさに気付く
- 認め合い、支え合い、高め合う
- あたたかく聴き、やさしく話す

根気よくやりぬく子

たくましい体と心をつくる

- 体力づくりに楽しく取り組む
- 健康・安全への意識を高める
- 体験を通して心をつくる

笑顔が集う幸せな学校

歌声の響く学校

地域の人が集う学校

愛される学校

《笑顔で支える教師》

子どもと共に学ぶ教師

人と人をつなぐ教師

学びを創る教師

教育環境

- ICTの活用による学びの充実
- 美しく潤いのある教育環境

家庭・地域

- 学社融合による豊かな学びの場
- 望ましい学習・生活習慣

《堀江の「3LOVE」》

自分が好き 人が好き 堀江が好き

<p>重 点 目 標</p>	<p>(1) 「正しく考える子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生きて働く知識・技能、特に「正確に読み解く力」の育成 ○ 思考力・判断力・表現力と学びに向かう力を育てる授業改善 ○ ICTの活用等による、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 <p>(2) 「仲よく助け合う子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や友達のよさに気づき、支え合い、高め合う、温かい集団づくりの推進 ○ いじめ・不登校の未然防止と早期発見・対応のための「チーム堀江」の確立 ○ 人間尊重の精神に立った人権・同和教育、特別支援教育、道徳教育の推進 <p>(3) 「根気よくやりぬく子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挑戦・協働の大切さを実感する「ふるさと堀江」での学社融合活動の充実 ○ 生涯にわたり運動やスポーツに親しむための根幹となる体育活動の充実 ○ 健全な体と心づくりの源になる健康・安全教育、食育の推進
<p>管 理 運 営</p>	<p>(1) 人的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相互の信頼と尊重を基盤としたチーム学校体制の構築 ○ コンプライアンスの遵守による信頼される組織づくり ○ 教師力・チーム力向上のための研修体制の充実 ○ 教職員の心身の健康管理と心理的安全性の高い職場づくり <p>(2) 物的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの思想に基づいた美しく潤いのある教育環境づくり ○ 施設・設備・備品等の適正な管理と有効活用 ○ 安全点検の徹底と防災体制の整備 <p>(3) 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校務分掌の明確化と協力体制の確立による業務改善の推進 ○ 個人情報適切な管理・共有と迅速な事務処理の遂行 ○ 厳正な会計処理の執行、的確な諸帳簿の処理及び保管
<p>本 校 教 育 の 継 承 と 展 開</p>	<p style="text-align: center;">～ 自分がすき 人がすき 堀江がすき ～</p> <p>堀江地区の美しく豊かな自然の恵みのもと、創立以来 136年間、先人たちによって育み培われてきた本校教育の歴史と伝統を継承し、地域に根付いている教育力を基盤に「ふるさと堀江」への愛着と誇りを持つ児童を育てる。同時に、激しい変化が止まることのない時代を主体的に生きぬくために必要な資質・能力を明確にしながら、自らの可能性を広げていこうとする「堀江っ子」の育成に努める。</p> <p>また、家庭・地域の理解と協力を得ながら働き方改革を実践することで、本校教育の質と持続可能性を向上させるとともに、地域と共にある学校づくりを推進する。</p>